

# チャペル週報

No.12

2019.7.1 ~ 7.5

わたしたちは知っているのです、  
苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。  
希望はわたしたちを欺くことはありません。  
わたしたちに与えられた聖霊によって、  
神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。  
(ローマの信徒への手紙 5章 3b-5節)



ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

関西学院宗教センター

---

☆ チャペル・スケジュール ☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

7月1日(月) 神 説教学演習A 田中 耕大(神学研究科M1)

経 異文化との出会い② 舟木 譲(宗教主事)

人 松隈 協(高等部宗教主事)

理 前川 裕(宗教主事)

聖和 聖書物語「小さなヒーローさんじょう」

---

7月2日(火) 神 安東 大器(神学研究科M1)

文 Andreas Rusterholz(宗教主事)

社 よりよい社会とは③ 田中 耕一(社会学部教授)

法 NPO法人かめのすけ

経 邑久光明園活動報告 宗教総部

商 Chapel in English Laura Yukiko Shigeta(交換留学生)

国 音楽チャペル ハンドベルクワイア

理 ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室

総 永嶋 里香(総合政策学部4年)

教 音楽チャペル 聖歌隊

---

7月3日(水) 神 小田部 進一(神学部教授)

社 ギターで歌う世界の賛美歌 打樋 啓史(宗教主事)、学生有志

法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)

商 山本 俊正(宗教主事)

人 井上 智(宗教センター宗教主事)

理 前川 裕(宗教主事)

総 村瀬 義史(宗教主事)

教 藤原 寛人(日本基督教団 高槻教会牧師)

---

7月4日(木) 神 東 よしみ(神学部准教授)

文 Andreas Rusterholz(宗教主事)

社 Towards a better society④ (Chapel in English)

Vivian Bussinguer-Khavari(社会学部准教授)

法 音楽チャペル ハンドベルクワイア

経 異文化との出会い③ Christian Triebel(神学部助教)

商 落語チャペル 櫻蔭亭天蝶(法学部4年)

国 Chapel in English Markane Sipraseuth(国際学部常勤講師)

総 岩佐 拓海(総合政策学部3年)

聖和 関西学院グリーンクラブ

---

7月5日(金) 院 井上 智(宗教センター宗教主事)

神 金 潤貞(神学研究科D1)

文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)

経 経済学と聖書⑧ 井口 泰(経済学部教授)

人 音楽チャペル 聖歌隊

理 内田 啓太郎(非常勤講師)

西北 山本 俊正(宗教総主事)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40

ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

7月5日(金) 高等部のために

枝川 豊(高等部長)

---

# ライデンの小さな博物館

山本 伸也

今から20年前、オランダに留学していた時、職場の同僚から一通の手紙が届きました。その手紙には、「メイフラワー号でアメリカのプリマスに上陸したピューリタンは、イギリスを出発する前にオランダにいたのです」と記してありました。この手紙を読んだ後、オランダにいたとされるピューリタンに関心を持ち、それを調べてみたいと思うようになりました。

ピューリタンについて思うように調べることができないまま数ヶ月が経過したある日、私はライデンのとある古書店に行き、一冊の赤い新刊本*New Comers in an old city — The American Pilgrims in Leiden, 1609 - 1620 —* を偶然目にしました。その本によって、ライデンにThe Leiden American Pilgrim Museumがあることを知り、早速その住所を調べて訪問することができました。博物館と言っても、1370年頃に建てられた建物の一階にある小さな住居ですが、ピルグリムが暮らしていた当時の家の内部がそのまま保存されているため、往事の生活を体感することができます。今年の2月、20年ぶりにこの博物館を訪れましたが、訪問される方が以前よりも多くなっているように思われました。

1608年、リチャード・クリフトンとジョン・ロビンソンを中心としたイギリスのピューリタンが母国での宗教的迫害を逃れてアムステルダムに上陸し、その翌年1609年に大学町ライデンに移動して生活を始めました。ピューリタンはそこで12年間滞在した後、一旦イギリスに戻り、プリマスからメイフラワー号に乗って新大陸アメリカに渡りました。

ピューリタンのライデンでの生活は厳しかったと記録に残っていますが、そのような状況下にあっても、ピューリタンはライデンで多くのことを学んだようです。ライデンでは毎年10月3日に、スペイン軍からの解放（1574年）を記念して特別な感謝礼拝（the special Thanksgiving service）が行われていました。アメリカに渡ったピルグリム・ファーザーズが、ライデンでの経験をもとに感謝の礼拝を行った可能性があるかもしれません。

（教育学部教授）

### ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50～18:20 1405教室)

7月主題:「聖書は人生をどう見ているか」

7月4日(木) 山本 俊正(宗教総主事)

7月11日(木) 井上 智(宗教センター宗教主事)

7月18日(木) Christian Morimoto Hermansen(宣教師)

### ●西宮北口キャンパスチャペル

阪急西宮北口駅隣接の「関西学院大学西宮北口キャンパス」では、月一回、金曜日にチャペルアワーを実施しています。どなたでもご自由にご参加ください。(10:35～11:05)

7月5日(金) 山本 俊正(宗教総主事)

関西学院大学西宮北口キャンパス

(阪急西宮ガーデンズゲート館8階;阪急西宮北口駅東改札すぐ)

### ●オルガン音楽の泉 2019 Spring semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第33回 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

と き: 7月10日(水) 12:50～13:20 [開場12:40予定]

と ころ: 関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催: 宗教センター

### ●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝のご案内

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

どなたでも(クリスチャンでなくても)参加できますのでどうぞお越しください。

7月14日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

### ●第217回ランパス演奏会 リコーダー・アンサンブル「レアル」リサイタル

「レアル」は1997年に関西学院大学応援団総部吹奏楽部OB・OGを中心に結成。

ランパス演奏会への出演は22回目を迎えました。バロック音楽を中心に古楽からジャズに至るまで幅広いジャンルの音楽をレパートリーに活動しています。

と き: 9月26日(木)17:30開演

と ころ: ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

### ●秋の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

宗教総部では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間: 9月30日(月)～10月4日(金)

受付場所: 吉岡記念館ラウンジ

主 催: 宗教総部献血実行委員会

### ●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち53人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランパス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き: 10月5日(土)10:00～16:00(予定)

と ころ: ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

指導者: 太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催: 宗教センター <入場無料>